



# 目 次

■まえがき	1	第3節 外国人の見た日本農業	68
■編集方針・凡例	2	*資料	
		1 - 14 『日本紀行』	68
		1 - 15 『大君の首府』	70
序 章 近代農業・農学史の視角と構成	11	第2章 欧米農学の受容と在来農法の継承	73
第1節 農業技術・農学における伝統と輸入	11	第1節 欧米農業動向の把握	75
第2節 明治初年の制度的変革と農業・農学の画期	25	*資料	
第1章 幕末期の農業技術	33	2 - 1 特命全権大使一行の米欧視察	76
第1節 耕種技術の諸段階	38	2 - 2 博覧会にみる日本農業	79
*資料		第2節 欧米農業技術受容の諸方策	81
1 - 1 『徳川時代の農家経済』——幕末の農家事情	38	*資料	
1 - 2 『豊稼録』	40	2 - 3 農業関係備外人一覽	81
1 - 3 『除蝗録』	46	2 - 4 三田育種場の設置と外来種苗の普及	84
1 - 4 『農具便利論』	48	2 - 5 三田農具製作所	87
1 - 5 『農稼肥培論』	54	2 - 6 駒場農学校の設立	89
1 - 6 『綿圃要務』	56	2 - 7 札幌農学校の設立	92
1 - 7 『農業自得』	58	2 - 8 地方農学校の設立	96
第2節 養蚕技術の発展	61	2 - 9 政府による農書編纂の企て	98
*資料		2 - 10 『農業三事』	99
1 - 8 『養蚕秘録』——桑繁殖法	61	2 - 11 『斯氏農書』——外国農書の翻訳	101
1 - 9 『養蚕須知』——蚕種製造	62	2 - 12 ジャワ稲および西洋小麦の試作	103
1 - 10 『蚕当計秘訣』——温暖育と温度測定	63	2 - 13 西洋農具の試用	105
1 - 11 『新撰養蚕秘書』——掃立法	65	2 - 14 政府試験場における試作	107
1 - 12 『養蚕絹飾』——網取拵座法	66	2 - 15 駒場農学校における試作と妻奴予防試験	108
1 - 13 『養蚕秘録』——上簇法の諸形式	67	第3節 在来農法継承の努力と成果	110
		*資料	
		2 - 16 第1回全国農談会の開催	110
		2 - 17 内国農具の買い上げ	111
		2 - 18 共進会の開催	112
		2 - 19 『農家得益弁』	113

2 - 20 『稻種選法』……………	115	4 - 2 農商務省創設の建議……………	173
2 - 21 『勸農新書』——寒水浸と土田法……………	116	4 - 3 『興業意見』……………	174
2 - 22 「窮理法の発見」——二化性蚕種 低温催青法……………	118	4 - 4 「欧米巡回農商務感覚録」——農事 研究教育機関設置のすすめ……………	178
<b>第3章 明治前期の緊急開拓と土地改良</b> ……………		4 - 5 「興農論策」……………	179
良……………		4 - 6 大日本農会の結成……………	182
<b>第1節 土族授産中心の緊急開墾</b> ……………		4 - 7 農事巡回教師の設置……………	184
*資料……………		4 - 8 農科大学の設置……………	185
3 - 1 「下総国開墾地人民処分ノ義ニ付 上申」……………	124	4 - 9 農業専門学校を設置……………	187
3 - 2 福島県「安積郡大槻原開墾ノ概要」……………	128	4 - 10 「重要穀菜試作ノ主意」……………	188
3 - 3 「北海道屯田兵制度ニ於ケル開墾、 営農ノ方法」……………	130	4 - 11 稻試作報告……………	189
<b>第2節 オランダ土木技術と低水工法</b> ……………		4 - 12 大麦・小麦・油菜試作報告……………	191
*資料……………		4 - 13 農務局仮試験場の小麦委嘱試験……………	192
3 - 4 茨城県鬼怒川筋吉田用水路視察復 命書……………	133	<b>第5章 農業技術の研究と大農経営の 試み</b> ……………	
3 - 5 鬼怒川粗朶工および見沼代用水・ 備前渠用水改修計画……………	135	<b>第1節 農学者の研究および論説</b> ……………	
3 - 6 木曾川分流の意見書……………	140	*資料……………	
<b>第3節 秩禄処分と大規模土地開墾</b> ……………		5 - 1 「塩水ヲ以テ稻種ヲ水撰スル法」 ——塩水選種法の創案……………	201
*資料……………		5 - 2 『米作新論』……………	202
3 - 7 「一般殖産及華士族授産ノ儀ニ付 伺」……………	143	5 - 3 「大麦交種試験ノ成績」——人工交 配育種の最初の試み……………	205
3 - 8 福島県安積疏水工事計画書……………	145	5 - 4 嚙蛆病・微粒子病の研究……………	206
3 - 9 栃木県那須疏水の開削……………	150	5 - 5 ケルネルの研究……………	209
3 - 10 北海道開進会社開墾顛末……………	152	5 - 6 フェスカの研究……………	214
<b>第4節 既耕地における農民主導の土地 改良</b> ……………		<b>第2節 生産者の農事研究</b> ……………	
*資料……………		*資料……………	
3 - 11 愛知県明治用水の開設……………	158	5 - 7 『稻作小言』——稻作チヨボクレ節……………	220
3 - 12 愛知県木津用水の改修……………	161	5 - 8 『稻種得失弁』……………	222
3 - 13 静岡県磐田郡田原村の畦畔改良 ——田区改正の先駆……………	162	5 - 9 庄内の一民間育種家……………	223
<b>第4章 農政諸機関の整備と農事試験 場設置への歩み</b> ……………		5 - 10 『 <sup>焼土</sup> 農興農要録』——焼土肥料のす め……………	225
*資料……………		5 - 11 『大日本稻作要法』……………	226
4 - 1 「勸農要旨」……………	171	5 - 12 『稻螟虫実験録』……………	229
		5 - 13 『日本麦圃鑑』……………	230
		<b>第3節 畜産の奨励と大農経営の企図</b> ……………	
		*資料……………	
		5 - 14 「牧羊業取調掛及下総牧羊場ノ設 置並緬羊ノ輸入」……………	232
		5 - 15 「伊豆産馬会社の事蹟」……………	234

5 - 16	フェスカの輪作大経営論	237
5 - 17	井上馨の大農論	239
5 - 18	下総・新冠両御料牧場の経営改革 意見	241
5 - 19	華族組合雨竜農場の成績	245
5 - 20	「岩手県岩手郡小岩井農場開墾方 案」	247

## 第6章 水利制度の整備と農業土木技術の進展

### 第1節 水利組合制度と灌漑排水事業

\*資料

6 - 1	「愛知県木津井組聯合会決議書」 ——水利土功会時代の井組連合会 規程	256
6 - 2	水利組合条例	259

### 第2節 田区改正から耕地整理へ

\*資料

6 - 3	「静岡県鈴木浦八等土地区画改良 図式解説」——静岡式土地区画改 良法	263
6 - 4	石川県石川郡安原村田区改正概要 ——高多久兵衛の田区改正	267
6 - 5	エッゲルトの「小田の結合」	270
6 - 6	「土地整理分合及排水」——日本の 土地改良論の成立	273

### 第3節 海面干拓技術の発達と北海道開拓事業の進展

\*資料

6 - 7	愛知県渥美郡神野新田の建設	277
6 - 8	岡山県児島湾の干拓起業方法	283
6 - 9	北海道北越殖民会社開墾経営方法 ——富農・富商の北海道開拓	289

### 第4節 農業土木技術の展開と農業用揚水機の普及

\*資料

6 - 10	埼玉県見沼代用水柴山伏越工法の 変遷	293
6 - 11	大阪府泉北郡向井村灌漑揚水機成 績	297

6 - 12	農業用揚水機設置府県別累年比較	300
--------	-----------------	-----

## 第7章 地主的農政の確立と展開

### 第1節 政策の浸透と農政の基調

\*資料

7 - 1	農会に対する「諭達」	311
7 - 2	「中農養成策」	312
7 - 3	『中小農保護政策』	314

### 第2節 地主的農会の結成とその役割

\*資料

7 - 4	全国農事会の結成	317
7 - 5	地主に対する農事改良の要望	319
7 - 6	「国本培養に関する建議」	319
7 - 7	農会と警察権力との提携	320
7 - 8	「農事改良奨励に関する建議」	321
7 - 9	農商務大臣諮問事項に対する帝国 農会の答申	322
7 - 10	「農会の情況と之れに対する希望」 ——政府の農会に対する希望	324
7 - 11	道府県農会の事業（福岡県）	326
7 - 12	村農会の活躍（千葉県源村）	328

### 第3節 産業組合の成立とその役割

\*資料

7 - 13	信用組合法案提出理由	329
7 - 14	「産業政策及社会政策と産業組合」 ——国家政策と産業組合	332
7 - 15	地主と産業組合	333

### 第4節 地主と小作人の動向

\*資料

7 - 16	「農家の家計」——地主・自作・小 作の経営収支	337
7 - 17	「三菱合資会社ノ小作奨励」——地 主の小作人奨励	342
7 - 18	地主団体・小作人団体の動向	344
7 - 19	『本邦小作慣行』	347

## 第8章 農事試験場の開設と農業技術の発達

353

第1節	国立農事試験場の開設と研究教育機関の拡充	359
	*資料	
8 - 1	「農事試験場の設立前後」——農事試験場の生い立ち	360
8 - 2	「農事試験場に就て」——農事試験場の発展	361
8 - 3	農事試験場本場・支場瞥見	363
8 - 4	「札幌帝国大学設立の必要を論ず」	366
8 - 5	農業教育機関の新設	367
第2節	地主制下の農業技術	369
	*資料	
8 - 6	『稲作要綱』——研究成果を加味した稲作概説	369
8 - 7	地方主要品種の出現	373
8 - 8	主要品種の分布と特徴	375
8 - 9	山形県における「苗代改良」	377
8 - 10	「共同苗代強制県令撤廃請願書ニ対スル意見」	379
8 - 11	稲苗正条植督励に関する通牒	380
8 - 12	石川県石灰肥料取締規則——石灰肥料の禁止	381
8 - 13	『主要販売肥料ニ関スル調査』——購入肥料の動向	382
8 - 14	「多木肥料〔製造所〕の形成と発展」	383
8 - 15	「山形県村山地方中農の農具」——中等農家の農機具体系	385
8 - 16	近代的短床犁の発達とその意義	386
8 - 17	石川県農会の「農具の調査」	390
第3節	研究試験機関における農事研究	392
	*資料	
8 - 18	「本邦に於ける稲の品種改良史」	392
8 - 19	「作物品種の改良法に就きて」	394
8 - 20	畿内支場における研究	396
8 - 21	『米ノ品種及其分布調査』	399
8 - 22	「稲いもち病」	400
8 - 23	「明治時代に於ける作物害虫防除技術史」	401
8 - 24	「農具の改良に就きて」——農具改良の方向	402

第9章	治水技術の転換と土地改良事業の進展	407
第1節	治水技術の転換と農業土木	412
	*資料	
9 - 1	「農業上より治水策を論ず」	413
9 - 2	富山県常願寺川筋の合口用水事業	417
9 - 3	宮城県仙台平野「品井沼の干拓」	421
第2節	暗渠排水技術の確立	425
	*資料	
9 - 4	「耕地排水調査報告」	425
9 - 5	「鳥取県久米郡中井太郎排水方案」	430
9 - 6	「富田式暗渠排水法の概要とその成果」	432
第3節	耕地整理法と土地改良事業の展開	439
	*資料	
9 - 7	新潟県中蒲原郡白根郷第1次排水改良事業——内水排除事業	440
9 - 8	埼玉県南埼玉郡新方領耕地整理組合事業概要——用排水改良を伴う耕地整理	446
9 - 9	「山形県飽海郡耕地整理組合事業状況」——地主主導の大規模耕地整理	450
9 - 10	福岡県三潞郡北部耕地整理共同会の事業成績	453
9 - 11	北海道雨竜郡深川土功組合大正用水工事経過報告	457
第4節	農業土木学の展開	460
	*資料	
9 - 12	『耕地整理講義』	460
9 - 13	東京帝国大学における農業土木学の進展	465
第10章	林業技術の動向	473
	*資料	
10 - 1	「東京大坂両港木材薪炭輸入」——林業生産と林産物需給の動向	476

10 - 2	薪炭生産の概況	485
10 - 3	「地理寮森林報告第二号」——明治 新政府の林業観	489
10 - 4	播種規則と山林共進会——新政府 による林業奨励	492
10 - 5	「木曾ノ伐木法」——木曾地方にお ける林業技術	496
10 - 6	「和州吉野郡木材及梓の解説」—— 明治前期の吉野林業	499
10 - 7	吉野林業における造林・育林技術	502
10 - 8	吉野林業における伐木技術	506
10 - 9	吉野林業における造材・木材加工 技術	507
10 - 10	吉野林業における運材・流送技術	512

## 第11章 近代的漁業技術の模索 ..... 521

### 第1節 在来技術の概要と技術開発 ..... 540

\*資料

11 - 1	明治前期の漁網	540
11 - 2	改良揚繰網の登場	547
11 - 3	「明治三十五年 乃至三十六年 愛知県下打瀬網漁業 利害調査報告」	552
11 - 4	『水産改良説』——巡回教師による	

漁業技術の指導	556
---------	-----

### 第2節 遠洋漁業奨励法の登場と漁船動

力化の実現	557
-------	-----

\*資料

11 - 5	「遠洋漁業奨励法の内容と改正」	558
11 - 6	遠洋漁業奨励法による認許船舶	561
11 - 7	遠洋漁船の経営収支	563
11 - 8	遠洋漁業奨励法改正に関する地方 水産試験場長等の意見	565
11 - 9	「舶用石油発動機報告」	568
11 - 10	「漁船用補助機関としての石油発 動機」	569
11 - 11	「鯉漁業の改良」	571
11 - 12	「漁船機関二十年の発達史」——漁 船用石油発動機の実用化	574
11 - 13	「本邦捕鯨業の現在及将来」——ノ ルウェー式捕鯨法の導入	577
11 - 14	「定置網漁業の進展」	579
11 - 15	「府県水産試験場の漁撈試験」	580

■年 表	583
------	-----

■参考文献目録	599
---------	-----

■索引	605
-----	-----